

# MIND信州

Vol.66



特集

## トクトクな旅日記

ホテルアンビエント安曇野

ホテルアンビエント安曇野 コテージ

情報誌『マインド信州』  
公益財団法人 中小企業なごの財団  
☎026-228-1176  
<http://www.mdnagano.or.jp>

トクトクな旅日記	1
信州・食べ物紀行①	5
なるほど! 信州“深”発見	7
信州マインド瓦版	10
マインド ホット! ステーション	13
信州歴史人物ストーリー	15
信州の四季百景	17
歴史への旅	19
信州・食べ物紀行②	21





色づく木々と一体になって佇む、山あいのリゾートホテル

## 秋色に染まる山岳コテージで 大自然に憩うスロートリップ

### 北アルプスに抱かれた 標高1,000mのリゾート

雄大な北アルプスのふもとに広がる安曇野の里。北アルプスの伏流水に潤されたのどかな田園風景に出迎えられ、これから始まる旅への期待が高まっていく。

目指す「ホテルアンビエント安曇野」は、安曇野のシンボル・常念岳を望む山の中腹にある。山に沿うよう



四季折々の大自然に出迎えられ、まずはホテルの中へ

にして建てられた独特のフォルムは、まるで山に抱かれているかのよう。19万坪の森林に囲まれたホテルの周辺には、約150棟ものコテージが点在し、そのうち34棟のコテージは貸別荘として宿泊できる。



水の郷として名高い安曇野。ホテル周辺を散策すれば、清らかな水の風景に出会う



広大な森林の中に、34棟の多種多様な貸別荘が点在する

コテージの魅力はなんといっても、ホテルの客室に勝る広々空間を、独り占めにできること。まるで自宅で寛ぐように、部屋で食事を楽しんだり湯に浸かったり。密を避けて、プライベートな休日を満喫できる。「旅行に行きたいけれど、こんな時期だから…」と躊躇している人にこそおすすめしたい、コロナ時代にぴったりの旅である。



## 旅のスタイルによって 選べる多彩なコテージ



まずはチェックイン。  
ホテルのフロントで  
説明を受ける

コテージのチェックインは、ホテルのフロントで。鍵を受け取り、目当てのコテージへと車を走らせる。一戸建てのスタンダードコテージをはじめ、多彩なタイプが揃う「ホテルアンビエント安曇野」のコテージ。これからの季節におすすめなのは、11月～4月限定の「暖炉コテージ&薪ストーブコテージ」だ。薪をくべたり、ゆらめく炎を眺めながら団らん



暖炉の炎を囲んで一家団らん



暖かさを重視するなら、薪ストーブコテージ  
がおすすめ



テラスでのBBQは、10月末まで可能

したり…。旅の醍醐味である非日常の体験が、滞在のひとつを盛り上げる。なおこちらは、季節ごとに趣向を変えたコンセプトコテージのため、10月中はテラスでBBQが楽しめる。素泊まりで好きな食材を持ち込むのもよし、手軽な食材付きの宿泊プランを選ぶのもよし、自由に旅をアレンジしよう。

仲よし家族やグループで宿泊するのなら、2連棟タイプの「コネクティングコテージ」が便利。隣接して建つ2



棟のコテージは、部屋内の扉で繋がっているため、外に出ることなく自由に行き来ができる。浴室や洗面所、トイレといった水廻りはそれぞれの部屋に完備されているため、忙しい朝も安心だ。2棟合わせて11名で利用できるこちらの「コネクティングコテージ」のほか、最大12名で貸し切れる「大型コテージ」も。グループでの忘新年会や会社の合宿、ミーティングなど、さまざまな用途に対応する。



2棟を繋げる扉を開けて、お隣のコテージへ



最も広い10名用の大型コテージ（最大12名）



「愛犬と一緒に泊りたい」。そんな思いに応えてくれるのは「安曇野わんわんパラダイスコテージ」。室内には犬用のケージやトイレ、食器、アメニティグッズなどが完備され、愛犬との旅をストレスフリーで過ごせる環境が整っている。朝夕のお散歩には、広大な敷地を生かした散策コースがうってつけ。小鳥のさえずりや森の香り、爽やかな風を感じながら、愛犬とのんびりお散歩が楽しめる。周辺には安曇野の街並みを見下ろす眺望スポットもあるので、ここまで足を延ばしてみてもいい。



愛犬と部屋で寛ぐ旅が、思いのままに



山そのものが、愛犬の散歩道に。家族みんなでリフレッシュできる

このように、さまざまなタイプのコテージが揃う上、山小屋風からモダンなコテージまで、1棟1棟造りが異なる。滞在のたびに、新鮮な楽しみに出会えるのも魅力だ。



眼下に安曇野の街並みが広がるビュースポットも

## 全棟温泉付き! ケータリングサービスも

もう一つの魅力は、すべてのコテージが温泉付きであること。中房溪谷から引湯したアルカリ性単純泉の湯を、ホテルの大浴場に行かずとも、いつでも何度でも満喫できる。無色透明の湯は、肌の当たりが柔らかく、身体が芯から温まる。外は冷え込む朝晩、“マイ温泉”にのんびり浸かるひとときはなんとも贅沢。身も心もじんわりとほぐれていく。



すべてのコテージに温泉を完備。時間を気にせず、ゆったりと湯に浸かりたい





ホテルの大浴場や露天風呂も利用可能

温泉と並ぶ旅の楽しみは、やっぱりグルメ。食事付きプラン(1泊2食)は、料理のランクにより設定された「お手軽プラン(大人7,500円～)」「通常プラン(大人8,500円～)」「グレードアッププラン(大人10,500円～)」の3種類。どのプランも夕食は、ケータリングかホテルのレストラン食のいずれかを選択できる。コテージ滞在の醍醐味を味わうなら、おすすめはケータリング。あらかじめカットした食材と調理器具を部屋まで届けてくれるので、あとは火を入れるだけ。しゃぶしゃぶや鍋料理をはじめ、焼き物などのメニューから選ぶことができる。家族や仲間だけで和気あいあいと過ごすプライベートなディナーは、コテージ滞在ならではの。ホテルメイドのグルメをお供に、ゆったりとした旅時間が流れていく。



「通常プラン(大人8,500円～)」の夕食ケータリングで選べる「国産牛ステーキセット」



こちらが「通常プラン」の夕食ケータリングの一例。国産牛を、2種類のダシにくぐらせていただく「二色鍋しゃぶしゃぶセット」

## 新たな感染対策で バイキングにも安心を

翌日の朝食は、ホテルでバイキング。(※日により、「和食」もしくは「洋食」セットメニューに変更)人気ナンバーワンの焼きたてクロワッサンや、炭火で炙ったイワナの一夜干し、名産のわさびを使った「わさび海苔」など、こだわりのメニューがズラリと並ぶ。バイキングとなると、何かと気を遣うご時世。今年4月よ

り新たに、バイキング形式での提供における感染症拡大防止対策を定め、衛生管理や3密の回避と併せ、安心安全なサービスの提供に取り組んでいる。



30種類以上のメニューが食べ放題の朝食バイキング

### バイキング形式の感染対策



- 会場入口にて検温、手指消毒、除菌消毒マットで靴裏消毒
- 料理の取り分け時には、マスク着用とビニール手袋の装着
- 会場に空間除菌機を設置
- 会場各所に消毒液を設置
- 各料理に飛沫対策用シートまたはプレート等を設置
- 一部メニューは、小皿に分けて提供
- 使い切り調味料を用意

### ホテルアンビエント安曇野 支配人 野中 利弥

当ホテルのコテージは全棟温泉付き。プライベートな温泉にゆっくりと浸かる、贅沢なひとときをお過ごしください。黄金色に輝く山の風景は、秋ならではの。ホテル・コテージ・わんわんパラダイスと、さまざまな滞在スタイルをご用意し、皆様のお越しをお待ちしております。



## ホテルアンビエント安曇野

安曇野市穂高牧 2230

TEL0263-83-5550

<https://www.izumigo.co.jp/>

- チェックイン / 15:00
- チェックアウト / 11:00
- 駐車場 / 150台
- アクセス / 長野自動車道・安曇野ICより  
「国営アルプスあづみの公園」方面へ約25分



# 生チョコの生みの親は 信州生まれのパティシエ!



口に入れた瞬間、フワッととろける口溶け。うっとりするようななめらかな食感を楽しむものといえば…。そう、みんなが大好きな生チョコだ。不動の人気を誇るこの生チョコは、なんと日本発祥のスイーツ。しかも生みの親は、飯山市出身のパティシエだった!? 生チョコはいかにして誕生したのか——。信州が世界に誇る、スイーツ界のレジェンド・小林正和さんに話を聞いた。

## トリュフの中身を使った 世界初のチョコレート

生チョコとチョコレートの違いとは何か。硬さの違いぐらいしか思い浮かばないが、実は明確な定義がある。生チョコとは、チョコレート生地に生クリームや洋酒を練り込んだもので、他のチョコレートに比べて水分が多い。「チョコレート公正競争規約」によると、全重量に対しチョコレートが60%以上、かつクリームが

開発当時と寸分たがわぬ味が受け継がれる「北信濃 Bunzoo いいやま ショコラの森」の「生チョコ ミルク」（12粒1080円〜）。いちごやまっ茶など、さまざまなフレーバーも揃う

10%以上で、水分が10%以上のチョコレートを生チョコと呼ぶのだという。あの口溶けの良さは、生クリームなどの水分によるものなのだ。

生チョコの歴史は意外に浅く、初めて世に売り出されたのは1988年。昭和の時代だ。当時欧米には「ガナッシュ」と呼ばれる生チョコと似たものがあつたが、ガナッシュは完成品ではなく、トリュフの中身になる材料。このガナッシュ自体をチョコレート菓子に改良し、それを「生チョコ」と名付けたのが信州出身の小林正和さんだ。

飯山市の農家に生まれた小林さん。茅ヶ崎や神戸の洋菓子店での修行を経て、1982年に独立。神奈川県平塚市に洋菓子店「シルスマリア」をオープンさせた。看板商品は、成型したガナッシュにチョコ



生チョコに限らず、4千数百種類のレシピを持つ小林さん。現在はお酢を使った生チョコを開発中



レートをコーティングしたトリュフ。店頭には40種類も並べたが、「トリュフはまだ“はしり”でね、全然売れなかった」と小林さん。トリュフの味を知ってもらうため、期間限定の半額セールを5年間続けた。店の評判は上がったが、トリュフを作るには4日もかかる。切実に時間を欲していた小林さんは、ある時ひらめいた。それは、トリュフのカバーリングを外して、中身のガナッシュだけを売るという斬新な発想。「チョコレートで覆わずカットするだけなら、作業が格段に楽になる」と、この着想に自信を得た。まさに「必要は発明の母」。「時間が欲しい」との思いが、生チョコの発明を生んだ。

発案から1986年の完成までには、2年の歳月を要した。「生チョコは極限までシンプル。誤魔化しがきかないんです。ところが生クリーム



と混ぜてもうまく乳化せず、分離してしまうチョコレートばかり…。生クリームと最も相性の良い素材を探す日々でした」。こうして世界に600数種類あるチョコレートの中から見つけ出したのが、ベルギーのチョコレート『CALLEBAUT (カレポー)』だった。

原料だけでなく、温度もチョコレートの味を決定づける。結晶が集まってできたカカオや生クリームは、急激な温度変化によって結晶が壊れ、本来の風味が損なわれてしまう。カカオの結晶を最後まで壊すことなく、いかに生クリームを流し込むか——。小林さんは、16時間という長い時間をかけてチョコレートの温度を45℃まで上げて溶かし、そこに65℃の生クリームを流し込むことで、ついに自らが思い描く生チョコ作りに成功した。



写真に残された第一号の生チョコ。サイコロ状にカットした形は、今も変わらない

## 開発レシピを公開し 生チョコ文化の育ての親に

「身震いし、脂汗が出た」と、その瞬間を振り返る小林さん。新鮮な生クリームを使うことから、「生チョコ」と命名した。かつてない新しいチョコレートの登場は、たちまち大評判に。お店には電話が殺到し、菓子メーカーやメディアもこぞって飛びついた。驚くことに小林さんは、当時のレシピを全国に公開。各地の講習会や



ガナッシュクリームを流し込む型をはじめ、生チョコをカットする機械も自ら開発

企業に出向き、作り方を伝授した。生チョコは日本中を席卷するブームとなり、やがてコンビニでも買える身近な存在に。小林さんの神対応なくして、生チョコが国民的スイーツにまで成長する日は訪れなかっただろう。

生まれ故郷の町おこしのため、半世紀ぶりに飯山市に帰ってきた小林さん。今年2月、「北信濃 bunzoo いいやまショコラの森」をオープンさせた。ショーケースに並ぶのは、開発当時のレシピを忠実に再現し、一粒一粒手作りした生チョコ。35年間愛され続ける生チョコのルーツを、心して味わいたい。



店舗は、生チョコが生まれた「シルスマリア」とまったく同じレイアウト。秋冬シーズンには、アールグレイや八女茶を使った生チョコが出揃う

### 取材協力

#### 北信濃 Bunzoo いいやまショコラの森

長野県飯山市南町12-9 生駒ビル1階

TEL.0269-67-0342

【営】10:00~18:00

【休】月曜

【P】10台

chocolate



## 県歌が救った分裂の危機 長野県の 移行論・分権論

長野県のことを信州や信濃と呼ぶ機会が多い。お隣の新潟や山梨も越後や甲斐と言うけれど、それほど頻繁ではないような。県全体を表すのに、「長野」という言葉だとどこか落ち着かないのだろうか?その違和感の根っこには、かつて長野県で繰り広げられた移行論、分権論があるのかもしれない。



### ■信州は合衆国?である

県歌「信濃の国」で「四つの平」と歌うように、広い県土は山によっていくつもの盆地に分けられている。江戸時代には14の中小藩と、数多くの天領・旗本領に分割されていた。こうした自然条件や歴史の背景により、長野県に多くの生活圏が並立している。また、やはり「信濃の国」冒頭にあるとおり、十州(現在の8県)にも接しているのだ。県境に近いところでは隣国の影響を少なからず受けるだろう。気候も文化も気質も多様な地域が寄り合っている様子は、「信州合衆国」さながらだ。

特に県土を南北に二分してその違いについて語られることがある。身近な例では、年取り魚の鮭と鰯とか、郷土食のおやきと五平餅とか、門前町と城下町とか。違いを違いとして受け容れたら、さすが長野県人!ダイバーシティが分かっているとなるのだが。

### ■はじめに伊那県があった

時は明治元年(1868)に遡る。信濃国には幕末まで、松代藩や松本藩など14の藩領や天領、旗本領、善光寺・諏訪大社などの寺社領などが点在していたが、明治維新により、幕府領を政府が直轄するため伊那県が置かれた。本庁は伊那谷の天領を治めた代官所・飯島陣屋だ。ただ、長野県の南部に位置する伊那で広い長野県の領地をすべて管理、支配するのは困難である。明治3年には、東信と北信の6郡を伊那県管下から外し、これを中野県とする。県庁は、伊那県下に分局だった中野県庁(旧中野陣屋)。またこのとき、高須藩は名古屋藩へと移された。

明治4年、中野県に竜岡藩が仲間入りした段階で、この県の名称が長野県(便宜的に第1次)に変わる。県庁も長野に移された。さらに同年7月14日の廃藩置県で、藩として残っていた松代藩や松本藩はじめ12藩が県となる。これで伊那県、長野県とあわせて14の県ができた。



伊那県庁となった飯島陣屋。現在の建物は再現したもの



中野陣屋・県庁記念館。この場所にかつて中野県庁があった(写真:一般財団法人信州なかの産業・観光公社)





## ■長野県と筑摩県に再編

ついで明治4年11月20日、明治政府は信濃国の14県を2つの県に再編する。東信・北信の諸県は長野県(第2次)となった。中信・南信の諸県と高山県(飛騨国)が筑摩県となった。なんと、現在の岐阜県の一部と長野県の南半分が同じ県だった時代があったのだ。

一端ここで整理しておく。明治4年11月の段階で、長野県には、松代県、飯山県、須坂県、上田県、小諸県、岩村田県、椎谷県が属していた。県庁は水内郡長野村だ。

一方、筑摩県には伊那県、松本県、高遠県、飯田県、高島県、名古屋県、高山県があった。県庁は松本(旧松本城二の丸御殿)である。

人口も比較しておこう。長野県は戸数10万4962で人口46万6652人、筑摩県は戸数11万4561で人口55万841人。筑摩県の方が戸数、人口ともに大きいのは飛騨国も含んでいたからで、それを除くと耕地も含め、両者は伯仲していた。どちらかが一方的に大きかったら、後々問題も起こらなかったかもしれない。

## ■そして、今の長野県が誕生

明治9年6月19日深夜、松本県庁が焼失する。折しも政府が県の廃置分合を進めていたから、これを機に飛騨国を分離させた筑摩県と第2次長野県が8月21日統合した。ほぼ現在の長野県ができ上がったわけだ。ただ新生長野県は、その誕生から問題を抱えていた。県庁所在地が北に偏っているのである。特に中南信の側から見ると。

明治10年11月、統合から1年と少ししか経っていないの



■明治元年当時の長野県



■明治4年7月当時の長野県



■明治4年11月当時の長野県



に、上田に県庁を移そうと移庁伺いが出される。当時の内務卿大久保利通はこれを無下にした。年が明けて再び同じ伺いが出されるも、今度は伊藤博文卿が却下した。

そして明治13年7月5日、長野県議会の第2回通常開において、松本出身の県会議員市川量造が県庁を県の中央に移すべきだと「県庁移転ノ建議」を県議会議長に提出した。結局この県会は反対派議員の欠席で流会となったが、ここに及んで移庁・分県運動が本格化していく。

## ■ 県歌「信濃の国」が生まれた理由

分県とは、移庁が叶わぬなら県を分けようという議論だ。分県派は中南信で署名運動を展開。明治22年9月に分県請願書を内務省に、分県建白書を元老院へ提出する。ただ元老院では支持されたものの、内務省が認可しなかったので分県は実現しなかった。

舞台は県議会へ。23年、移庁建議書が提出された第13通常会は荒れに荒れた。議員宿舎で襲われ入院する議員は出るわ、議会で移庁が立ち消え扱いとなると、松本地方では納税拒否や警察署への騒擾事件は起こるわ。

南北に長い長野県の県庁が北偏することで地域間格差が生まれている、いやそんなことはない、と南北問題は収まるどころを知らない。そこで、この政治問題を融和すべく、明治32年に小学校唱歌として発表された歌こそ、後

に県歌となる「信濃の国」だった。誰にも口ずさまれる歌により、県民に連帯感が生まれることを願って。

## ■ そのとき傍聴席からあの歌声が

しかし、明治41年に長野県庁舎が焼失したときも、大正15年(1926)に郡役所が廃止されたときも、昭和になって8年(1933)にも移庁論が盛り上がる。

昭和23年、県庁舎の一部焼失を機に分県論が起こり、第74回県議会は予算案も審議できずにいた。分県案が可決されそうな機運に、反対派が牛歩戦術で議事の先延ばしを図ると、興奮した議場はあわや乱闘寸前となる。

そのときだ。傍聴席から「信濃の国」の大合唱が起こったのである。振り上げた拳は収められた。翌日以降も会議は踊るのだけれど。結局、賛成派反対派とも法定得票数に達せず、分県意見書は可決も否決もされなかった。

昭和37年に県庁新築問題でまたもや移庁論が起こるが、翌年7月松本・諏訪地区が国の政策で新産業都市に指定され、さらに県行政の普遍均等化のための施策について議論が始まると、ここにおいてようやく移庁・分県は一応を収まりをみせた。

さて、「信濃の国」が県歌となって今年で53年、長野県人は一つになったのだろうか。



信濃の国は十州に 境連ぬる国にして  
そび 聳ゆる山はいや高く 流るる川はいや通し  
 松本伊那佐久善光寺 四つの平は肥沃たいら ひよくの地  
 海こそなけれ物ものさわに 万よろず足らわぬ事たぞなき

### 参考文献

- 『長野県県政史第一巻』
- 『長野県史近代資料編第二巻(一) 県政』
- 『長野県史通史編第七巻近代(一)』
- 市川健夫・小林英一編『県歌・信濃の国』
- NPO長野県図書館等協働機構 / 信州地域史料アーカイブ  
<https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/>
- 長野県議会 / 議会の沿革  
<https://www.pref.nagano.lg.jp/gikai/chosa/gaiyo/enkaku/index.html>
- 国立公文書館アーカイブズ  
<http://www.archives.go.jp/publication/archives/no67/69312000515100>





## “信州リノベーション”の現在地。建物再生、新たな繋がりへ

地方再生や地域活性化に繋がるリノベ=リノベーション【既存の建物に対して新たな機能や価値を付け加える】が活況だ。空き家の再生が増加する中で、公共的な建物や歴史的建造物もリノベーションの対象になり始めている。県内3つの事例を紹介し、“信州リノベーション”の今に注目したい。

### ■ 旧小学校校舎▷ 複合施設(飯綱町)

## いづなコネクトEAST・いづなコネクトWEST

### 飯綱町をカッコいい田舎に

飯綱山の懐に抱かれ、四季折々の自然に囲まれた県北部の飯綱町。寒暖差が大きい土地柄は果物栽培に適し、県内有数のりんごの名産地でもある。ここに2018年3月をもって閉校した2つ

の町立小学校が、三水第二小学校と牟礼西小学校。飯綱町では、各地区住民をはじめ町民の意見も聞きながら、閉校した校舎の再活用を進め、2020年から2校を新拠点としてオープンさせた。運営はまちづくり会社「カンマッセいづな」で、「飯綱町をカッコいい田舎にする」をコンセプトに、施設の管理活用を行っている。



いづなコネクトEAST



いづなコネクトWEST



泉が丘喫茶室のシックな店内(EAST 1階)



モノづくり空間「チャレンジラボ」(EAST 2階)



50畳の宿泊室「6年教室」(WEST 3階)



廃校フィットネスSent.(WEST スポーツ棟B1階)

### テーマが異なる、2つの新拠点に

元・三水第二小学校だった校舎は「いづなコネクトEAST」となり、「食・農・しごと創りの拠点」に。1階には名産のりんごに関わる空間があり、元給食室をりんごのスイーツも楽しめるカフェ「泉が丘喫茶室」、元職員室にはシールド工場の「林檎学校醸造所」ほか、誰もが気軽に利用できるコミュニティラウンジも。2階は「しごとづくり」をテーマに、地元建築会社や首都圏企業のサテライトオフィスも入居。1人でも利用可能なワークスペース、子どもから大人まで誰もが学び、モノづくりができる空間もあり、都市圏との交流促進もはかっている。

「自然・スポーツ・健康の拠点」がテーマの元・牟礼西小学校「いづなコネクトWEST」。メイン棟の1階にはサッカー場が見渡せるカフェ、コインランドリー、コミュニティラウンジがある憩いのエリアで、2階は企業が入居するオフィスフロア。3階は宿泊室とし、スポーツ合宿などに利用できる大広間も。別棟のスポーツ棟にはフィットネスジムがあり、シャワー付き更衣室も完備。自然の中での豊かな暮らしや、観光資源を活かした体験事業を進めている。

校舎の構造を活かしたりノベーションがなされ、どの空間も垣根がなく風通しがいい。共通するのは、飲食、会議室や図書館など地域の人でも気軽に利用できる施設を備えたところ。かつて賑わった学校が、飯綱町の魅力を伝え、再び繋がる場所へと変わっていた。

#### 【DATA】

**いづなコネクトEAST**(旧・三水第二小学校)

●上水内郡飯綱町大字赤塩2489 TEL026-262-1995

**いづなコネクトWEST**(旧・牟礼西小学校)

●上水内郡飯綱町大字川上1535 TEL026-217-0016

【開】9:00～22:00(火～日曜)、9:00～17:00(月曜) 【休】毎月最終月曜



## 脇本陣の宿 糸屋(くめや)

### 江戸時代の脇本陣が現代の宿に

小諸城の城下町であり、江戸時代には北国街道の宿場町として賑わった小諸市。明治以降も問屋や工場が進出し商都として栄えた。街道筋には今も古い木造家屋や土蔵、明治・大正期のハイカラな建物が佇む。

その中で、ひととき「旅籠」の風情を色濃く残しているのが、江戸時代からの建物をリノベーションした「脇本陣の宿 糸屋」だ。脇本陣とは本陣に次いで、大名の家臣や武士、公家、役人などが宿泊した旅籠。糸屋は明治以降も昭和20年頃まで旅籠として営業し、そののち住宅として使用されてきたが、平成19年頃からは空き家。近年になり取り壊されそうになったところを、住民や町並みの研究会などから惜しむ声上がり、平成26年に小諸市が買い取った。

建物の活用方法については、住民などが参加するワークショップで検討を重ねた結果、旅館とカ



灯りがともると一段と風情が増す糸屋外観

フェとして再生・リニューアルすることが決定。過度に手を入れず、伝統と格式をそのまま残した形でリノベーションを施し、令和元年7月5日にオープンを迎えた。運営は一般社団法人こもろ観光局が指定管理者として行っている。



かつて上客が使用した書院造りの離座敷



入口から続く三連の座敷は格式を感じさせる



行商人の玄関だった土間はカフェとして営業



主屋とはなれの間にある中庭

### 古くから伝わるものを今につなぐ

主屋、はなれ、土蔵の3棟からなる建物は、すべて国の登録有形文化財に指定されている。歴史的価値を尊重したリノベーションとのことで、建物の梁や柱などはもちろん、障子や建具もできる限り古いものを使用している。そのため各部屋に洗面、トイレ、浴室はないが、清潔な共用施設が整備されているので、江戸の旅籠風情を感じながらも快適に過ごすことができる。

街道に面した木造2階建ての主屋は、切り妻造りの屋根や二階部分が前にせり出した「出梁(だしばり)造り」などがそのままの

姿で残る。玄関の式台から続く3つの座敷はロビーを兼ねており、旅籠時代からの宿札や資料が展示され、貸しスペースとしても利用されている。行商人用の玄関であった土間はカフェ「茶屋くめや」となっていて気軽に利用できる。

客室は主屋の2階とはなれ、土蔵の3部屋。それぞれ1組ずつ、最大3組が宿泊できる。特に、はなれの書院造りの部屋は欄間に「竹林の七賢人」の彫り物が施されるなど一番格式が高く、大名など上客が使用したものと考えられている。

### 海外へも目を向けた今後の戦略

宿泊は一泊朝食付きが基本で11,000円～(一室二名利用の場合、詳細はHPを参照)。夕食は小諸のまちを回遊してもらうため、市内の飲食店を案内している。

現在は宿泊客のほとんどが日本人だが、アフターコロナを見据えて、これからは欧州圏、特にフランスからの誘客に力を入れていくそうだ。小諸市出身の小山敬三画伯夫人がフランス人だったことや、小諸と気候風土が似ているなど共通点が多く、古いものが静かに残っている風情もフランス

人の気質に合うと考えられている。

糸屋から北国街道を小諸駅寄りに下ったところには、国重要文化財の小諸宿本陣問屋場(現在は非公開)が遺されている。小諸城の大手門や懐古園など、観光名所も徒歩圏内。東方面に上った本町界隈は古い町並みが整備されている。取り壊しの危機を逃れ、再び灯りをともした糸屋を拠点に、江戸から昭和初期の風情が残る街並を、国籍を問わず多くの人が行き交う日が来るのが待ち遠しい。

#### 【DATA】

#### 脇本陣の宿 糸屋

●小諸市市町1-2-24 ●TEL0267-27-1482(受付時間10:00~16:00)

【休】火・水曜 ※宿泊の営業は金・土・日曜(月・木曜の宿泊は5名以上の予約のみ)



■ 旧文具卸会社社屋 ▷ 複合施設 (長野市)

# SHINKOJI SHARE SPACE

## 新小路の旧社屋をリノベ

善光寺へ続くメイン通りから一本東へ入った新小路。ここにかつて文具や事務用品の卸売業を営む会社があり、築45年の社屋が残された。2012年、社屋4棟をリノベーションする「SHINKOJIプロジェクト」が立ち上がり、2014年に複合施設「SHINKOJI SHARE SPACE」として再生された。そのうちの2棟を手掛けたのは施設内に事務所を置く、不動産会社(株)リファール総合計画。善光寺門前の小路に、人の暮らしや仕事が生じる新たな場所づくりをスタートさせた。



新小路エリアの食堂的存在 (SHINKOJI北棟 1階)



25帖の共有スペース付きシェアハウス「SHINKOJIハウス」(SHINKOJI北棟 3階)



文具卸会社の倉庫だった「SHINKOJIアトリエ」



作家らが共生する工房 (SHINKOJIアトリエ 2階)



文具卸会社の本社だった「SHINKOJI北棟」

## 仕事、飲食、居住空間へ

小路の両側に立ち並ぶ昭和期の建物が、現代の感性と融合され、新しい空間に生まれ変わった。かつて本社機能を備えていた3階建て社屋は「SHINKOJI北棟」へ。1階入口にはこのエリアの顔で、誰もが立ち寄れる「新小路カフェ」があり、3人の主婦が作る和食メニューが好評だ。店内アプローチを進むと奥にはミニコンサートや会議室としても利用できる「SHINKOJIホール」。

かつてはボイラー室で、一部煙突を残しミニメントとしている。2Fはオープンな空間のシェアオフィスで、コの字型に6つのブースを配置。大きなテーブルを中央に置き、異業種の起業家が集う専用スペースとした。3階の社員食堂があった場所は全7室のシェアハウス「SHINKOJIハウス」に。学生などの利用もあり、若い世代が行き交うスペースでもある。

## ものづくりのアトリエ棟

道を挟んだ斜め向かい、昭和57年完成の倉庫だった建物が「SHINKOJIアトリエ」。ものづくりに特化したアトリエ棟で、1階には帽子をオーダーメイドする作家と家具店の作業スペース、2階にはシャドーボックスの教室と制作、活版印刷と製本を扱う作家、イラストレーターなど合計8名の作家が工房として利用している。今春、1階入口付近のスペースに、入居する作家の作品を展示販売するギャラリーも兼ねた「新小路ショップ」をオープン。常設に加え、企画展示も開くなど、新たな交流も生まれている。

善光寺へのメイン通りに続く小路は、昭和の風情から新時代の空気感へ。そこには暮らしや仕事、人々の営みから新たな繋がりが生まれていた。門前町の歴史や文化が育む、新小路からの発信に今後も注目していきたい。

### [DATA]

#### SHINKOJI SHARE SPACE

- 長野市東町142-2
- TEL026-217-0555  
(リファール総合計画)

## ◀ 長野県の日本一 ▶ No.1

### ◆ オリンピック選手輩出率・日本一「野沢温泉村」

2022年は北京で冬のオリンピックが開催される年。1998年、長野オリンピックのバイアスロン会場にもなった、長野県の北部・野沢温泉村。約3500人の人口(2021年8月現在)の村からこれまで16人もオリンピック選手が輩出されている。これは233人に1人がオリンピック選手という快挙だ。'92年アルペールビル大会・ノルディック複合団体で金メダルほかを獲得したノルディック複合の河野孝典選手、'94年リレハメル大会・ジャンプ・ラージヒル団体で銀メダルのジャンプの西方仁也選手など、メダリストも誕生するなど功績を残している。

情報提供: 野沢温泉村



多くのオリンピック選手を育てた野沢温泉スキー場





100年先を見据えて根を作り  
手をかけず、目をかける。  
現代の盆栽手法とは一線を画し  
樹本来の生きる姿を味わい、楽しむ。



◆松山園 四代目園主 盆栽師  
山本千城子さん(須坂市)

## 日本で唯一の 女性盆栽技能保持者

鉢の中に、自然の樹木の姿を縮小して表現する盆栽。ただの鉢植えとの決定的な違いは、植物の成長を的確に抑制し、小さな姿のまま成熟させる点にある。そのためには時間もお金も掛かるし、針金かけや剪定なんて難しくてムリ！ そんな盆栽のイメージを根底から覆すのが、明治創業の盆栽店を営む山本千城子さんだ。

現在全国に41人いる「盆栽技能保持者(日本盆栽協同組合 認定)」のうち、山本さんは唯一の女性。「松山

園」の四代目として家業を継ぎ、完全な男社会といわれる盆栽界の中で、女性の活躍の場を広げてきた。

人間の美意識という物差しで、植物の姿を画一的に変える盆栽のあり方に、疑問を投げかける山本さん。盆栽作りの必須アイテムである針金を使わず、自然に生きる植物本来の姿と、潇洒な曲線を描く細い枝ぶりを追求している。「水と肥料は最小限。木が若返る植え替えもしない。極限まで放ったらかす、そのさじ加減こそ大事なんです」。そう話す山本さんの盆栽作りは、何から何まで新しい。



同じ種から育てた、ナナカマドのきょうだい盆栽。写真左の鉢は、わずか5cm四方。これほど厳しい環境でもたくましく生きる

## 従来の常識を覆す 盆栽作り

上へと成長する力を抑制するため、種から最初に伸びてくる「直根」を切るのが、盆栽作りのセオリー。ところが山本さんは、鉢入れの際にこの直根を残して土の上に出す。「根って、固い所に当たると曲がるでしょ。針金で曲げなくても立派に芸がある。全体を傾けて植えて、この曲がりを見せると、ほら、表情が出る」。山本さんの手にかかると、鉢入れから数年の若木も立派に盆栽。勝負といわれる立ち上がりの5cmには、すでにそれらしい風情が漂う。直根を残して自然な枝を育てることは、100年200年生きられる丈夫な盆栽作りにも繋がるのだ。

山本さんは盆栽を甘やかさず、厳しい環境で育てる。驚くほど小さな



曲がりくねった枝に趣がある百日紅(ヒャクジツコウ/サルスベリ)の盆栽。細く洒落た枝ぶりは、松山園の真骨頂





樹高20cmと小ぶりの五葉松。大きく成長しようとする樹を、いかに小さく締めるかに、枝の神髄がある



徒長枝(伸びすぎた強い枝)は、ハサミで切ると暴れる。手で葉を少しずつ摘み取り、自然に枯れ落ちる環境を作る



山本さんが指し示するのが、一番古い直根。周囲の若い根を切り、この直根を土の上に出して芸を作る

鉢に入れ、春は水も肥料も極力与えず飢餓状態にする。梅雨までに根を張らせ、夏の暑さを乗り切る体力をつけるためだ。「植物は、長く生きる戦略を持っている。水や肥料をもらえないと、あの手この手で知恵を出します。その生命力を上手に引き出すには、観察することがすべて。『こうすれば、こうなる』というカードを一つ一つ増やして、そのカードを組み合わせるのです」。人間と植物の知恵比べは、まるで子育てのよう。すぐに結果が出ないのも同じだ。

「うちの盆栽は、太陽と水と風で作る」と山本さん。太陽の光や風に当てる、水やりをするといった日々

の手入れには、すべて確固たる理由がある。針金やハサミではなく、自然の条件を利用した戦略に基づき、自らが思い描く樹形をデザインしていくのだ。「限られた鉢の中で、樹が時間をかけて変わっていく。その一つ一つの発見には、いつも新鮮な感動と喜びがあります」。



樹の先端を下に抑制し、見せたい部分に光を当てると、上へ上へと成長する。植物の育つエネルギーを狙ったところに発散させて、少しずつ樹形を整えていく

## 変化する樹を楽しむ 盆栽は最高の一人遊び

こうした盆栽作りの集大成として、数々の作品展に出品してきた山本さん。盆栽作家の登竜門といわれる「日本盆栽作風展(第30回)」では、初の女性受賞者に。日本小品盆栽組合主催の「雅風展」では、鉄骨のオブジェや着物の帯、100円ショップの小物などと組み合わせた、今までにない盆栽の楽しみ方を提案してきた。

盆栽店の経営のかたわら、地域の

公民館でも指導にあたる。公民館の庭先に自生する若木を使い、親子でミニ盆栽を作る「家族の記念樹」も、そんな活動の一つ。「高価な五葉松や真柏もいい。でも、盆栽はお金を掛けなくたって楽しめます。親子で若木から育てる盆栽は、家族の思い出が詰まった宝物になるでしょう」。

山本さんいわく、「盆栽は、最高の一人遊び」。植物と対話し、生きるすべや自然の真理に触れる。常にあるのは、自分よりも長生きする生命体の知恵を借りるという謙虚な姿勢と、あくなき探究心だ。芽が出て花が咲き、実になる——。四季折々の営みにじっと目を凝らし、愛しい時間を鉢の中に積み重ねていく。



子どもたちと作ったコナラやモミジの記念樹は、山本さんの思い出の作品に



### 松山園

須崎市幸高町屋敷添438-1

TEL.026-248-0080

<https://shouzanen.net>

■営業時間／9時半～18時(冬季10時～)

■定休日／月・水曜

■駐車場／あり



もののふ  
武士の世の扉

# 木曾義仲

【第3回】— 義仲、粟津松原に散る —

院政や平氏政権という既存の政治体制を壊し、鎌倉に武家政権が誕生する。

その幕府を開いたのは源頼朝であったが、平氏を討つことでこの大きな時代の扉の前に初めに立ったのは木曾義仲であった。

**永寿2年(1183)7月28日、平氏を追い落とし入京した義仲であったが、後白河法皇との間に決定的な亀裂が入る。**

入京した義仲は早速後白河法皇と会い、平家追討の命令を正式に受け取る。義仲軍はついに官軍となったのである。「平家物語」で朝日將軍と呼ばれる通り、3年前に木曾で旗揚げした義仲が武士として最も輝いた時だったろう。しかしこのとき、法皇と義仲の思惑はすでにずれていた。

法皇は平家追討の勲功の一位を鎌倉にいる頼朝とし、義仲はその後塵を拝する。法皇が密かに頼朝と通じ、次の政権のあり方を模索していたことを、連戦に勝利しつつに平氏を退けた義仲は知らなかった。

義仲は、平氏追討を呼びかけた以仁王の遺児で、自分を頼った北陸宮を奉じて戦ってきたから、安徳天皇が平氏とともに都を逃れた今、北陸宮こそ天皇位につくべきと考えた。しかし、法皇の目論見は違った。後白河は次の天皇の世でも院政を行って実権を握りたい。ならば自分が制御できる人物を天皇にはつけねばならない。理想は三種の神器を携えた安徳天皇を上皇として都に戻し、わが意中の後鳥羽に禪譲させる形で、皇位継承の乱れを自らの手により回復することだ。

安徳を都に戻すためなら平氏との和平さえ探ろうとす

る後白河にとって、平氏滅亡をひたすら目指した以仁王の考えは容れられなかった。その遺児・北陸宮の即位は、以仁王が正しいと認めることに他ならない。後白河にはありえない選択肢だ。そもそも官位もなく一地方武士に過ぎない義仲が、皇位継承に口を出すことすら後白河法皇には想定外だったろう。

義仲にとって不幸だったのは、彼の部下に国政を知るものがほとんどなかったことだ。義兄弟の契りを交わした木曾四天王も、今日までに勢力下においてきた信濃、上野、北陸道の武将たちも、国を動かす経験や能力には欠ける。つまり文人として後白河と渡り合える人材がなかった。加えて、持ち合わせの兵糧が尽きた義仲軍が、飢饉の影響で食糧が不足していた都で徴発を始めるようになり、統率をなくした義仲軍は京の食糧危機を一層深刻にさせていく。

8月20日、後白河法皇が推す<sup>たかひら</sup>尊成親王が即位し、後鳥羽天皇が立つ。法皇は義仲を都から遠ざけるため、西国で勢力を回復しつつあった平氏を追討するよう命ずる。ただ義仲は動かない。鎌倉からいつ頼朝が上洛してくるか予断を許さなかったからである。



義仲寺(写真:びわ湖大津観光協会)



木曾義仲の墓(写真:びわ湖大津観光協会)



9月20日、ついに平氏追討へと軍を動かした義仲であったが、10月14日に後白河が頼朝に対し東海道、東山道、北陸道の軍事指揮権を認める宣旨を出すと、急ぎ都へとって返した。北陸道は義仲が京へ上る際に勢力圏においてきた地域であり、東山道には信濃や上野が含まれる。宣旨の詳細を知った義仲は激高し、この一件で後白河法皇との決裂は決定的となる。

11月19日、義仲はその軍勢を後白河法皇のいる法住寺御所に向けた。いわゆる法住寺合戦で後白河は捕らえられ軟禁させられたが、義仲が払った犠牲も大きかった。朝廷に弓を引くことを良しとしない配下の者は戦いを前に義仲軍から次々去り、京のまちの人心も義仲から離れた。義仲は12月1日いんのみうまのべつとうには院御厩別当に、翌寿永3年1月11日には征夷大將軍に就くが、すでにその命運は尽きかけていた。頼朝が送った遠征軍が後白河を救おうと京へ進撃してくるのは時間の問題だった。

元暦元年(1184)1月20日、頼朝が発した上洛軍は、総大将源範頼が瀬田(現滋賀県大津市)から、義経が宇治から、京の都に攻め込んだ。その数6万騎に対し、義仲軍はわずか1400騎。しかもこのうち樋口兼光率いる500騎は、後白河の工作で義仲に背いた源行家を討つため河内国石川城へ向かっていた。

義仲は義経軍を止められないと悟り、今井兼平と合流

すべく瀬田に向かう。範頼率いる本隊と決戦し死ぬ覚悟だった。合流が叶ったとき味方の数は既に500。そのわずかばかりの手勢も激しい戦いにどんどん欠けていく。ついに7騎となって義仲は、まだ残っていた巴を本国へ状況を伝える使者として落ち延びさせた。

粟津に辿り着いた義仲ら5騎は範頼本隊へ突き進んでいく。一騎また一騎と命を落としながら。最後に残った兼平も奮戦するも、ついに義仲が射落とされ首を取られたのを見て、太刀を咥え自ら落馬して自害した。

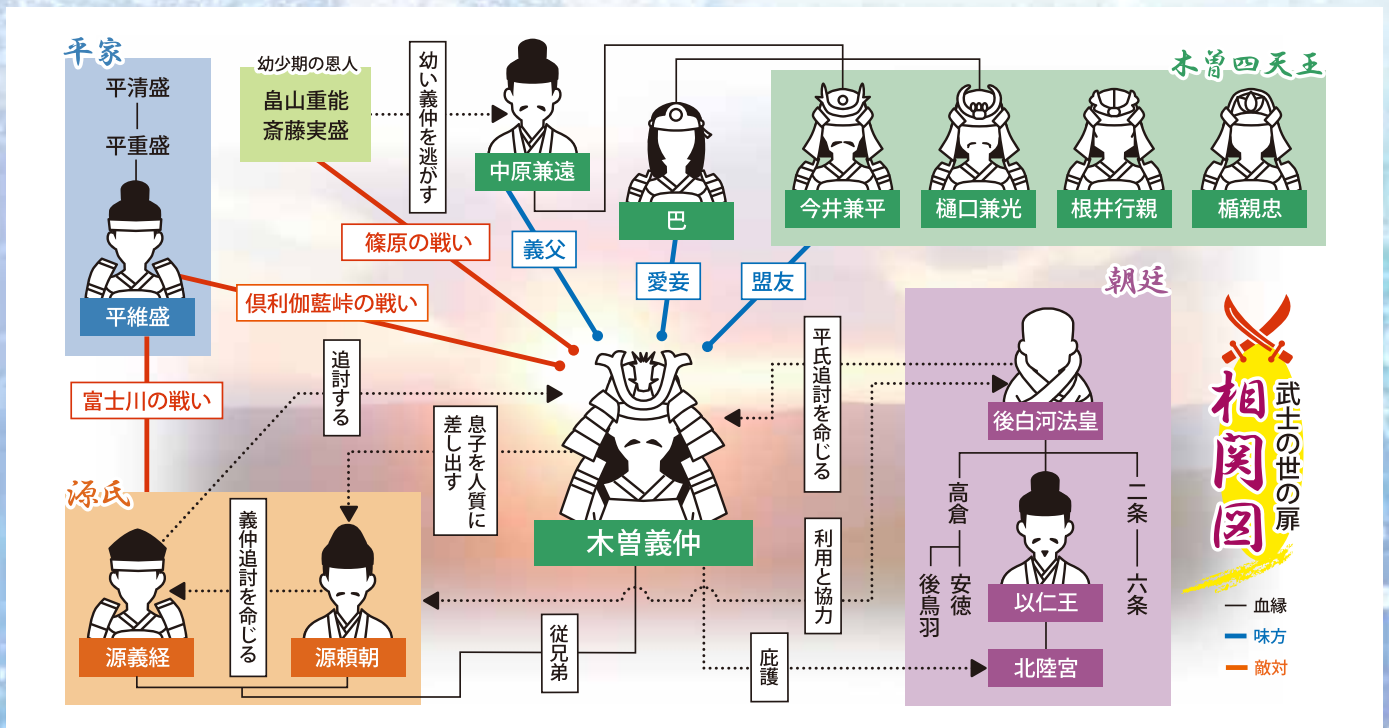
後に源頼朝が築く鎌倉幕府のような革新的な構想は源義仲には描けなかったろう。ただ、新しい時代の幕開けを前に、彼の31年の生涯は強い輝きを放った。

義仲を葬った場所には、その名にちなんで朝日山義仲寺がある。国史跡に指定されている同寺境内には、この場所を幾度となく訪れた松尾芭蕉の墓も立つ。—— おわり

参考文献 永井晋『源頼政と木曾義仲』(中公新書)ほか



芭蕉は義仲の生涯に感銘し、その墓の隣に自分の墓を建てるよう遺言した





# 信州の四季百景

## 今年こそ出会いたい! 信州の冬景色

日常が様変わりする中、変わらない自然の営み。これから訪れる信州の冬には、厳しさの中にも心が熱くなる風景がある。コロナ収束を願う今季こそ、信州の冬景色に出会いたい。



道祖神祭り【野沢温泉村】



諏訪湖の御神渡り【岡谷市・下諏訪町・諏訪市】



**国宝松本城  
氷彫フェスティバル2022**  
【松本市】

国宝松本城を背景に多彩な氷像を展示する冬の恒例イベント。夜を徹して制作する氷彫師達の巧みなパフォーマンスは必見。朝は雄大な北アルプスを背景に朝陽に照らされ、夜は松本城と共にライトアップと、幻想的な氷像の世界に酔いしれる。

開催日程/2022年1月20日(木)~23日(日)  
入場料/無料  
問合せ/国宝松本城氷彫フェスティバル  
2022実行委員会事務局  
TEL.0263-34-8307

**野沢温泉  
道祖神祭り**  
【野沢温泉村】

江戸時代後期から盛んに行われ、日本三大火祭りとして国の重要無形民俗文化財に指定されている。最大の見せ場は、厄年の男衆が松の枝で村人の松明の炎から社殿を守るという激しい火の攻防。冬の夜空を焦がす迫力の炎に、祭りの神髄をみる。

開催日程/2022年1月15日(土)  
※毎年1月15日に開催  
問合せ/野沢温泉観光協会  
TEL.0269-85-3155

**諏訪湖の御神渡り**  
【岡谷市・下諏訪町・諏訪市】

諏訪湖が全面結氷した時、水の収縮と膨張の繰り返しにより亀裂が生じ、せり上がる神秘的な自然現象。諏訪大社の信仰の対象で、諏訪市・八剣神社の認定を受け「御神渡り」と正式に呼ばれる。3季連続で出現していないが、今季に期待したい。

出現時期/12月~2月の厳寒期で、-10度の  
冷え込みが続くと出現する  
問合せ/諏訪地方観光連盟  
TEL.0266-52-4141

**いいやまかまぐらの里**  
【飯山市】

県最北に登場する「かまぐらの里」。20基ほどのかまぐらはレストランとなり、「のろし鍋」で暖まって(要予約)。幻想的な夜はもちろん、昼間の光景も清々しい。飯山を代表する冬の風物詩として地元でも親しまれている。

開催日程/レストランかまぐら村は  
毎年1月下旬~2月下旬  
問合せ/信州いいやま観光局  
TEL.0269-62-3133





国営アルプスあづみの公園 ウインターイルミネーション【安曇野市】



地獄谷野猿公苑【山ノ内町】



### 軽井沢高原教会 星降る森のクリスマス2021 【軽井沢町】

大正時代から続く軽井沢高原教会を会場に、ランタンキャンドルが教会の森を照らすクリスマス期間のイベント。星のように瞬く高さ6mのクリスマスツリー、森に浮かび上がる星明かりのプロムナードなど、冬の軽井沢の夜があたたかな光に包まれる。

開催日程／11月29日(日)～12月25日(土)18:30～21:00  
※来場は予約制。予約は公式サイト(11月1日公開)にて。11月22日に予約受付開始。  
<https://candle.karuizawachurch.org/christmas/>  
※詳細は公式サイトを参照ください。

### 国営アルプスあづみの公園 ウインターイルミネーション 【安曇野市】

県下最大級のウインターイルミネーション「Winter Illumination 光の森のページェント」。安曇野の澄んだ空気の中、毎年、テーマに沿ったモチーフの光の飾りで、幻想的な世界観を展開。今冬のイルミネーションは堀金・穂高地区のみの開催。

開催日程／11月6日(土)～2022年1月10日(月・祝)  
入園料／大人450円(65歳以上210円)  
小人(中学生以下)無料  
問合せ／国営アルプスあづみの公園総企画・穂高管理センター  
TEL.0263-71-5511

### 地獄谷野猿公苑 【山ノ内町】

1964年の開苑以来、野生のニホンザルを間近で観察できる場所として、世界の人々に愛されている。冬は-10度を下回る極寒の地で、温泉で暖をとることも。大自然の中、生息地の一部である野猿公苑で、野生動物との偶然の出会いを楽しんで。

開催日程／4～10月8:30～17:00、11～3月9:00～16:00、無休  
入苑料／大人(18歳以上)800円、小学生～高校生400円 ほか  
問合せ／地獄谷野猿公苑  
TEL.0269-33-4379



※掲載の情報は2021年8月現在の内容です。記載の祭事日程は予定です。開催や詳細につきましては、記載された電話番号へお問合せください。



## お諏訪様と 善光寺さん

### 第2回 善光寺



本来なら今年行われる予定だった善光寺前立本尊御開帳が一年延期となり、令和4年(2022)に執り行われます。来年は、諏訪大社式年造営御柱大祭(通称・御柱祭)が開催される年でもあり、期せずして長野県を代表する一大行事が同年開催となりました。善光寺さんもお諏訪様も、私たちにとってたいへん尊く、かつ身近な信仰の対象であればこそ、知っておきたいことがたくさんあります。そこで今号では善光寺さんを取り上げ、その由緒などについてご紹介します。

○本堂(国宝)

#### ■ 日本に伝えられた最古といわれる仏様

善光寺の御本尊・一光三尊阿弥陀如来様(如来様)は、欽明天皇13年(552)に日本へ伝えられた最古といわれる仏像です。ただ当時、仏教を受け容れるか否かで宮中で論争があり、廃仏派の物部氏により如来様は難波の堀江にうち捨てられてしまいます。その後、蘇我氏と聖徳太子が仏教を奨励するようになり、太子が難波の堀江で如来様の出現を祈念すると、ひとたび水面に現れた如来様は「今しばらくこの底にいて、我を連れて行くべき者が来るのを待つ。その時こそ多くの衆生を救うべき時だ」と話されました。

時は下り、信濃国の本田善光が国司に伴って都に参った折、難波の堀江にさしかかると、「善光、善光」と声がします。目の前に現れた如来様の、ともに東国へ下り衆生を救うとの仰せに、善光は尊像を背負って信濃のわが家に帰ります。如来様ははじめ現在の飯田にお祀りされ、皇極天皇元年(642)に現在地に遷座しました。

○山門(重要文化財)



#### ■ 印度で人々を悪疫から救われた

時を戻しましょう。場所は印度です。お釈迦様が昆舎離<sup>びしゃり</sup>国の大林精舎<sup>がつかい</sup>にいたころ、この国に月蓋という長者がいました。大層な金持ちでしたが欲深で、お釈迦様が教え導こうと門を叩いても、供養の御馳走を惜しみ相手にしません。しかし、国中に流行した悪疫に愛娘の如是<sup>によせ</sup>が冒されると、ついにお釈迦様の御前に進み出て、これまでの罪障を懺悔し、如是の命をお救いくださるよう懇願しました。



○経蔵(重要文化財)

お釈迦様が仰いました。「西方極楽世界におられる阿弥陀如来様におすがりして南無阿弥陀仏を唱えなさい。」その教えに従った月蓋の前に、十万億土の彼方から阿弥陀如来様が一尺五寸のお姿になられ、一光の中に観世音菩薩、勢至菩薩を伴って大光明を放たれました。すると如是の病も国中の悪疫もたちまち収まったのです。

そのお姿を現世にとめおこうと、月蓋が再びお釈迦様にお願いすると、閻浮檀金<sup>えんぶだこん</sup>に三尊仏が顕現したのです。



## ■ 衆生のため百済へ、さらに日本へ

時が下り、百済国では聖明王が、自分が月蓋長者の生まれ変わりだと知らず悪行を重ねていました。このとき王の前に現れたのが、印度での教化を終え百済国へお渡りになっていたかの如来様でした。如来様が過去の因縁を告げると、王はたちまち改心し善政を行ったと言います。

如来様は次の教化の地として日本を定めました。教えに従い、ときの推明王は如来様を送ります。そして、この国で月蓋長者と聖明王の生まれ変わりが、御前に来たるのを待たれたのです。そう。本田善光こそその人でした。

こうして善光寺縁起を紐解くと、御本尊・一光三尊阿弥陀如来様が古来より「生身の如来様」と言われ、人肌の温もりを持ち、人と語り、眉間の白毫から知恵の光明を発されるというのも胸に落ちる気がします。そして、この仏様あればこそ、善光寺は長きにわたり民衆の心の拠り所として宗派を問わず深く広い信仰を得ているのでしょう。



○鐘楼(重要美術品)。長野五輪では開式を告げた。



○常燈明。開山善光の代に御本尊様より放たれた光で灯されたといわれる。



○前立本尊御遷座式



○中日庭儀大法要(浄土宗)

## ■ 善光寺の行事について

善光寺の行事で365日欠かさず行われているのが、日の出とともに本堂で始まるお朝事です。善光寺全山の僧侶が出仕してお勤めします。お朝事の前後には、法要の導師を務める善光寺住職が本堂を往復する際、参道にひざまずく信徒の頭を数珠で撫でて功德を差受けます(お数珠頂戴。諸般の事情により取り止めとなる場合があります)。

年中行事としては、正月の御印文頂戴、2月の節分会、8月のお盆縁日などがあります。

数え年で七年に一度行われる善光寺前立本尊御開帳は、秘仏である御本尊の御身代わりとして、まったく同じ姿の「前立本尊」を本堂にお遷して全国の人々にお参りいただく盛儀です。現在の本堂建立の際、松代藩が普請奉行であったご縁から、御開帳の折には毎回松代町から回向柱が寄進され、本堂前に立てられます。回向柱は前立本尊の右手と善の綱で結ばれており、柱に触れる人々に仏の慈悲を伝えてくださいます。



○お朝事(天台宗)

令和四年善光寺前立本尊御開帳日程	
3月 27日(日)	回向柱受入式
4月 2日(土)	前立本尊御遷座式
4月 3日(日)	開闢大法要
4月 23日(土)	中日庭儀大法要(浄土宗)
5月 7日(土)	中日庭儀大法要(天台宗)
6月 29日(水)	結願大法要
6月 30日(木)	前立本尊御遷座式

※写真提供：善光寺



# 旬は秋から冬！ 岡谷から全国へ発信 寒のうなぎ



甘辛のタレが染み込むうなぎの蒲焼きを、白飯にのせたうなぎ重(手前)、白焼き(奥)ほか



夏のイメージが強い「うなぎ」だが、実は産卵や冬眠に備えて脂の乗りが良くなる秋から冬が最も美味しいという。

「うなぎ」で町おこしをする岡谷市の飲食店では「寒い季節こそ、うなぎを」と、全国初「寒の土用 丑の日」を広めている。諏訪湖と天竜川沿いで淡水漁業が盛んな地域性から、今に続く「寒のうなぎ」。栄養豊富な、信州の旬を味わおう。

## 天竜川源流の地 岡谷で発祥

諏訪盆地の真ん中、信州最大の湖・諏訪湖。流域の豊富な水源でもある諏訪湖には、31の河川が流入しているが、唯一流出しているのが湖の北東側、岡谷市から流れ出る天竜川だ。天竜川の始まりであるここ釜口水門近くに、一つの記念碑が佇んでいる。「寒の土用 丑の日 発祥の地」と刻まれた、細長い石碑。



「寒の土用 丑の日 発祥の地」の記念碑は平成16年建立

建てたのは「うなぎで町おこし」を行う「うなぎのまち岡谷の会」だ。「毎年ここで、消費したうなぎへの感謝と資源保護を願い、供養祭を行います」と会長で「うなぎの館 天龍」の社長・今野利明さん。すぐそばで店を構える今野さんに岡谷の「寒のうなぎ」について話を伺った。「1月が最も美味しい時期です。ぜひ岡谷のうなぎを味わってください」。会としては、地元の幼稚園、小中学校へ年に一度、蒲焼きの「うなぎ給食」にも協力するなど、岡谷のうなぎに関する様々な普及活動を地道に続けている。



うなぎのまち岡谷の会 会長  
うなぎの館 天龍 社長 今野利明さん



## うなぎは郷土料理

古くから漁業が盛んだった諏訪湖や天竜川は、昭和30年代頃までは天然のうなぎが豊富で、特にこの釜口水門付近では高い漁獲量を誇っていたという。岡谷のうなぎの特徴は「さばきは背開きで関東風、焼きは蒸さない関西風」としているが、それは「先人たちから引き継がれたスタイル」でもある。2代目の今野さんは「祖父の時代は、個人で釣って食べていた」そうで、昔から貴重なタンパク源だったようだ。「今の80、70代までうなぎをさばける人も多く、当時から“内臓を傷つけないようにと背開きで、蒸さない”やり方は、今に通じています」と語る。味に関しても、産卵や冬眠に備えて脂の乗りが良くなる秋から冬が最も美味しく、寒さ厳しい岡谷の地で貴重な栄養源だった。慣れ親しんだ庶民の味であり、地域に根付いた食文化が「うなぎのまち岡谷」の原点なのだ。



諏訪湖から流れ出る天竜川と釜口水門

## 「寒のうなぎ」を全国へ

今も全国的に高いうなぎの消費量を誇る岡谷市。平成8年には、岡谷の名物としてまちを盛り上げようと、市内でうなぎ料理を提供する飲食店や川魚店が参加し「うなぎのまち岡谷の会」が設立された。「旬のうなぎの美味しさを広めたい」と「寒の土用 丑の日」を制定し、日本記念日協会にも登録。発祥の地として名乗りを挙げ、平成20年の「第1回岡谷寒のうなぎ祭り」を皮切りに、毎年1月最終の丑の日「寒の土用丑の日」にあわせ



てイベントなどを行い、「寒のうなぎ」をPRしている。「うなぎは夏の土用 丑の日に食べることが定着していますが、旬は秋から冬。調理していても脂の乗りが全く違います。豊富な栄養で免疫力を高めて欲しい」と今野社長。会の発足から26年、コロナ禍により昨年祭りも休止中だが、少しずつ活動を始める予定だ。

## 甘くて濃いタレが岡谷流

「岡谷のうなぎ」の特徴の中で特筆すべきは「蒲焼きのタレが甘くて濃い」こと。標高780m、冬は氷点下が続く「寒い土地ならではの味」と今野社長。天龍ではシンプルに「上白糖、醤油、酒」で作るが「どの店も独自の味を追求する中、タレの味だけはどの店も不思議と似ている」という。背開きしたうなぎに金串を打ち、炭火でじっくりと、まずは皮側から焼き、表面に火が通ったら身の方へ。関東風の背開き（関西風は腹開き）、関西風の蒸さない（関東は蒸す）やり方で、タレにくぐらせては焼きを繰り返す、タレがうなぎにじっくり染み込むようたっぷり。パリッとした食感と脂の旨味を感じる、いいとこ取りの調理法。口に広がる香ばしさと濃厚な味わいがクセになる「岡谷のうなぎ」。今冬の「寒の土用 丑の日」、令和4年1月17日～2月3日の頃が待ち遠しい。



背開きにしたうなぎに金串を打ち、まずはタレをつけずに炭火で焼いていく



濃厚な味わいになるよう、甘めのタレをたっぷりつける



炭火の遠赤外線効果で外はパリッと、中はふんわり

### 「うなぎのまち岡谷」の会 加盟店 (令和3年8月現在)



#### 【うなぎ料理専門店】

うなぎの館 天龍、御うな 小松屋、やなのうなぎ 観光荘、あら川、うなぎ・川魚料理 割烹 濱丑、うなぎ水門

#### 【食事処・割烹】

あら磯、季節料理 田舎家、寶眞亭

#### 【川魚店】

丸共 清水屋川魚店、丸共 清水屋ラオカヤ店、小松屋川魚店、丸中 清水屋、塚原川魚店／鰻蒲焼き“階”

#### 【ホテル・旅館】

民宿みなと

■取材協力／うなぎの館 天龍



地元菓子店「ヌーベル梅林堂」とのコラボ作、うなぎ骨パウダー入りの焼き菓子

「すわ湖太郎 くらみキャラメル」

■問合せ うなぎのまち岡谷の会 事務局(岡谷市観光協会内)TEL0266-23-4854



ながの財団は、長野県内の中小企業を応援しています。

無料掲載サイト

# 求人Naviながの

掲載など費用は一切かかりませんのでお気軽にご利用ください。

## 求人Naviながのとは

公益財団法人中小企業ながの財団が、人材確保が難しい長野県内の中小企業者のための無料求人支援事業及び勤労意欲のある者の無料就労支援事業の一環として運営するインターネット求人サイトのことをいいます。

この事業は、当法人の「公益事業」として管理・運営するもので利用者に対しては全て無償で提供しております。

なお、求人情報を利用して特定・不特定を問わず求職者を推薦・紹介等の行為は一切いたしません。



### 対象事業所

「求人Naviながの」は、次の各号に該当し当法人が適正と認めた中小企業事業所がご利用いただけます。

1. 長野県内に事業所を設置していること。
2. 長野県内を勤務地として求人募集を行うこと。

### 求人NaviながのHPはこちら

<https://www.kyujinnavi-nagano.jp/>

求人ナビながの

検索



OSやブラウザによっては、正しくご利用できない場合がございます

●お問い合わせは [受付時間：月曜日～金曜日 午前9:00～午後5:00 (祝祭日除く)]

**公益財団法人 中小企業ながの財団**

〒380-0936 長野市中御所岡田131-10 長野県中小企業会館3階

Tel.026-228-1176(代)

Fax.026-228-1796